

## 1. はじめに

このチャレンジに応募しようと考えた理由は、私自身も、大きな教室を私一人のために電気を使って使用していたからだ。私は、図書館に行って勉強することが多いのだが、どちらかと言えば教室で勉強する方を好む。図書館と教室で勉強するのでは、空気感や雰囲気が異なり、個人的には教室で自習をする方が好きだ。このような理由で、教室を自習室として利用する方は少ないのかもしれないが、他のどの場所でもなく、教室で自習をするということは、教室での自習を好んでいると考えられる。しかし、今、香川大学の電気代、いや地球にとって、大きな負担をかけてしまっている。たくさんの人が自習室として利用したい教室を、たくさんの人が自習室として利用できるように、案を考えた。

## 2. 対策案

1日の毎時限ごとに、空き教室を2つ紹介する。紹介する場所は、経済学部空き教室の情報が掲載されている教務システムだ。2つの教室の内訳は、以下の通りだ。1つの教室は、静かに自習したい人向けの教室だ。もう1つは、友達と話し合いながら自習をする人向けの教室だ。この教室においては、香川大学の図書館にある「ラーニングコモンズ」を想像すると良い。

なぜ、このように教室を2パターンに分けたのかというと、私の経験からだ。はじめにも述べたように、私はよく教室を利用して自習をしていた。どこが空き教室なのか分からないので、いろいろな教室を回りながら教室を探した。探し回ってやっとの思いで教室を見つけるのだが、その教室には友達で話し合いながら自習をする人が入っていたことがあった。また、最初私1人で静かだった教室が、たくさん話す学生さんが入ってきたという経験がある。私は、静かな空間で、なおかつ教室という場所で勉強するのを好んでおり、人の声などが気になって自習ができないことがあった。私のような苦い経験をせずに、効率よく自分自身に適した教室で自習ができるように、このようなシステムを考察した。静かな空間で自習したい人は静かな教室を選んで、逆に少しうるさい方が勉強できるという人には、ラーニングコモンズ的な教室で自習してもらえればと考えている。自分自身に適した教室で効率よく自習ができるように、教室を利用していききたい。

また、対策案の最初に、「1日の毎時限ごと」に教室を紹介すると述べたが、教務システムに1週間分の空き教室を掲載していてもよいと考えている。さらに、注意する点として2点挙げる。1点目はラーニングコモンズ的ななどの教室では、換気を徹底して行う必要がある点だ。2点目は、教室をどのくらいの人数が利用するか分からないので、必要に応じて開校する教室の数を増やす必要がある点だ。

## 3. さいごに

私はこれからも教室を利用して自習をしていきたいと考えている。その教室がいつも通り教室をして利用できるように、改善できるところは改善して、誰にとっても利用しやすい教室を作っていきたい。対策案として方針は挙げたが、まず基礎にある部分は、教室を出るときには電気を消したり、なるべく暖房を付けないようにしたりすることなので、今日から意識して節約に努めていきたい。この文章を書くことで、より節約を意識が高まったと言える。